

私たち「放課後NPOアフタースクール」が活動を始めたのは2005年。代表を務める平岩国泰に長女が誕生し、子どもたちにもっと幸せな環境を作りたいと思ったことがきっかけでした。今、日本の子どもたちが置かれている環境は決して幸せなものとは言えません。働く母親が増えているのに保育園の数が足りず、小学生になっても学童保育所だけでは、放課後の子どもたちの居場所が不足している。その結果、子どもたちが見守られ安心して遊べる場所がなくなり、「小1の壁」にぶつかった母親たちが仕事を辞めざるを得ないという社会問題も起きています。この問題を解決するために、子どもたちが友達と思いつきり遊べて、保護者の方には安心して預けてもらえるようなアフタースクールを全国の小学校に広めようというのが私達の活動です。公立私立を問わず、これまでに開校したのは15校。1年生から6年生まで、親の就労にかかわらず、すべての子どもたちが参加可能です。行っているプログラムも子どもたちのリクエストに応じたものばかり。料理、音楽、スポーツ、ものづくり等々、指導者と子どもたちが一緒に作り、目を輝かせながら活動に没頭しています。私にも、6歳の娘と3歳の息子がいます。ひとりの母親としてわが子に望むのは、いい成績を取ることでも、いい学校に進学することでもなく、その子の個性を活かして希望に満ちた人生を送ってほしいこと。その環境を整えてあげるのが私たち大人の役目です。自分の子どもだけでなく、すべての子どもたちに楽しく幸せな時間を。そんな思いで、私たちはアフタースクールを作り続けているのです。



Profile '76年生まれ。上智大学文学部社会学科卒業後、教育系サービス会社に入社し、保育事業、子ども向け商品開発に携わる。その後、一橋大学国際・公共政策大学院への進学を経て、2006年よりコンサルティング会社に勤務。主に、福祉・医療・子育て支援分野の調査研究・コンサルティングを行う。'16年1月より現職。

「放課後NPOアフタースクール」事務局

島村友紀さん(39歳)

子どもたちは楽しく遊べ、
保護者は安心して預けられる。
そんなアフタースクールを
全国に広めていきたい。

島村友紀さんの 人のために



「市民先生」を講師に迎え、地域コミュニティの活性化にも貢献
「放課後NPOアフタースクール」ではこれまでに9つのジャンルで500種類以上のプログラムを、子どもたちのために行ってきました。講師は「市民先生」と呼ばれる地域のプロフェッショナル。引退した大工の棟梁、商店街のレストランのシェフ、現役のスポーツ選手や茶道の先生など、「社会全体の力を借りて子どもたちを育てる」ことがポリシー。また、地域の大人たちの手を借りることで、街のコミュニティの活性化にも貢献。行政や企業と連携した子育てプロジェクトも展開しています。詳細は<http://npoafterschool.org/>